

2018年10月15日

## SUBARU 新型「フォレスター」が2018年度グッドデザイン賞を受賞

SUBARU 新型「フォレスター」が、2018年度グッドデザイン賞(主催:公益財団法人日本デザイン振興会)を受賞しました。

今回の新型「フォレスター」について、審査委員からは以下のような評価をいただきました。

『先代モデルから奇をてらわずに丁寧に正常進化している。インテリアデザインでは表情異なるレザーの組合せやステッチなど、細部の拘りと適切なCMF\*1が施され、コンセプトに相応しい耐久性だけでなく、上質感がバランス良く表現された点を評価した。』(評価コメントより抜粋)

「フォレスター」は、SUBARUが最量販車種と位置づけるグローバル戦略車です。乗る人すべてが愉しく、快適な空間を共有できるよう、取り回しのよさと室内の広さを両立したパッケージングや使い勝手の良い装備を採用し、SUBARU共通のデザインフィロソフィー“DYNAMIC x SOLID”のもと、SUVらしいたくましさや、機能的で使いやすさが感じられるモダンキュービックデザイン\*2を表現しています。

今後も、“DYNAMIC x SOLID”に基づき、デザインにおいてもSUBARUらしい「安心と愉しさ」をお客様にお届けします。

\*1: Color(色)、Material(素材)、Finish(加工)

\*2:キュービックなシルエットがもたらす容積感と、左右フェンダーの張り出しによるスタンスの良さを併せ持ったフォルム



新型フォレスター「Advance」

グッドデザイン賞とは

1957年創設のグッドデザイン商品選定制度を継承する、日本を代表するデザインの評価とプロモーションの活動です。国内外の多くの企業や団体が参加する世界的なデザイン賞として、暮らしの質の向上を図るとともに、社会の課題やテーマの解決にデザインを活かすことを目的に、毎年実施されています。受賞のシンボルである「Gマーク」は優れたデザインの象徴として広く親しまれています。

グッドデザイン賞公式サイト <http://www.g-mark.org/>